

○日時 令和8年1月6日（火）
13:00～13:30
○場所 北九州市本庁舎4階 記者会見室

OECD チャンピオンメイヤーへの選出及び 新しいサステナブルな「都市像」の共同発表会見

次 第

1. 出席者紹介
2. 北九州市 挨拶 及び 内容説明
(市長 武内 和久)
3. 世界的専門家 挨拶 及び 内容説明
(オーストラリア国立大学 特別教授 シューメイ・バイ)
4. 質疑応答
5. 写真撮影

配布資料

- ・ 次第
- ・ 配席表
- ・ 内容説明資料（北九州市説明資料）
- ・ 令和8年1月6日付 プレスリリース資料

【問合わせ】

- ◆チャンピオンメイヤーへの選出について
政策局国際政策課
課長：瀧口、係長：宮崎 電話：093-582-2146
- ◆新しいサステナブルな「都市像」について
政策局サステナビリティ戦略課
課長：村上、係長：濱邊 電話：093-582-2156

報道機関各位

PRESS RELEASE

- ◆武内市長が **OECD(経済協力開発機構)「チャンピオンメイヤー」**に選出！
- ◆世界的権威であるオーストラリア国立大学教授と共同策定した
新たな都市像『Next Horizon Sustainable City』を世界へ一斉発信！

武内北九州市長が、パリやミラノなど世界 66 都市の首長が名を連ねる「OECD チャンピオンメイヤー」に選出されました。

これを受け、オーストラリア国立大学シュューメイ・バイ卓越教授(IPCC 特別報告書調整主執筆者)との共同により、世界をリードする新たな都市像を発表し、世界へ発信します。この中では、「リタラボ」や「まつりプロジェクト」など、市民の行動を喚起するプロジェクトが盛り込まれています。

【武内和久市長の OECD チャンピオンメイヤーへの選出】

この度、武内和久北九州市長が OECD チャンピオンメイヤーに選出されました。

OECD チャンピオンメイヤーズは、パリやミラノなど、世界30か国66都市の首長が参画する、都市における包摂的な経済成長政策を推進するための世界的な連合体です。

同取組への参画を通じて、北九州市の取組を世界に発信してまいります。



【新たな都市像『Next Horizon Sustainable City』】

北九州市は、持続可能な都市（サステナブルシティ）の新たな方向性として、「Next Horizon Sustainable City」（ネクストホライズン・サステナブルシティ）という新たな都市像を、オーストラリア国立大学シュューメイ・バイ卓越教授（IPCC 特別報告書・調整主執筆者）が提唱する最新の理論を取り入れ、共同で創りました。これは、都市を単なる課題が生まれる「場」ではなく、世界の課題解決を牽引する「変革の主体(Transformative Agent)」として位置づけるもので、世界的にも先駆的かつ独自性の高い概念です。

北九州市は、かつて深刻な公害を経験しながらも、市民・企業・行政が一体となってそれを克服し、その過程で得た知見と経験を、国内外の都市が抱える課題解決に生かしてきました。こうした利他的かつ再生的な歴史を持つ都市として、今後、世界が直面する複雑化・高度化する課題の解決に貢献するため、この都市像を国内外へ広く発信していきます。

◆ 新たな都市像を象徴する4つのキーワード

<曼荼羅ネットワーク> 多様な主体が有機的につながる都市	<利他的な都市> 互いを思いやる力を持つ都市
<再生的な都市> 継続的に自らを再生する都市	<世界の変革主体> 世界の変革を自らつくりだす都市

◆ 新たな都市像を具現化する3つの主要プロジェクト

様々な課題の解決に向けて
産官学民が共創する場



食・文化・スポーツ・エンタメを通じ
市民の自発的な参加と熱量を喚起

サステナビリティに関心をもつ人々が
「一度は訪れたい」と思う目的地に

◆ その他、「Next Horizon Sustainable City」に向けた直近の取組

- ・リタラボ・プレワークショップの実施（令和8年1月24日、2月21日の2回）
→九州大学芸術工学部との共同実施

参考資料「OECDチャンピオン・メイヤーズ for Inclusive Growth Initiative」について

1 概要

- ・地域における不平等の是正に取り組み、包摂的な経済成長政策を推進するために尽力する、世界の66都市の首長からなる世界的連合体
- ・OECDが2016年3月に設立

2. OECD チャンピオンメイヤーズ・ヴィジョン(2022 年策定)

大胆かつ野心的な政策を推進し、ベストプラクティスを共有することで、チャンピオンメイヤーズの声を世界舞台に届け、世界中の都市の経済成長を推進する機会を創出する。

3 加入都市数

30カ国66都市(令和7年12月29日時点)

※主な加入国・都市

国	自治体
フランス	パリ
イギリス	リバプール
ドイツ	ハンブルグ
イタリア	ミラノ、トリノ、ローマ
ポルトガル	リスボン
ベルギー	ブリュッセル
スウェーデン	ストックホルム
ブラジル	リオデジャネイロ
トルコ	アンカラ
南アフリカ	ケープタウン
日本	北九州市、東京都、横浜市、仙台市、福岡市、岡山市、富山市、つくば市
韓国	プサン、ソウル
タイ	バンコク

【問合せ先】

■OECD チャンピオンメイヤーズ

国際政策課 担当：瀧口(課長)、宮崎(係長) 電話：093-582-2146

■Next Horizon Sustainable City

サステナビリティ戦略課 担当：村上(課長)、濱邊(係長) 電話：093-582-2156

北九州市長が **OECDチャンピオンメイヤー** に選定

持続可能な **新たな都市像** を発表

世界的権威とのパートナーシップがスタート

2025年の国際的取組



2025年の国際的取組

4月 フランス・パリ
OECD URBAN DAYSで登壇



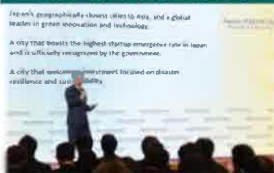
6月 インド デランガナ州と
協定締結



6月 ドイツ Daring Cities 2025
/UNFCCC ダイアログに参加



6月 タイ ASEAN最大のスタート
アップマッチングフェアに登壇



7月 台湾・高雄市と
連携協定締結



10月 カンボジア王国と
水道分野の覚書を締結



OECDチャンピオンメイヤーズとは、

- ✓ 経済的格差の解消に向け、
地域における不平等の是正や、包摂的な経済成長の推進に尽力する首長が選定される仕組み
- ✓ パリ、ミラノ、ブリュッセルなど
世界30か国66都市の首長からなる
世界的連合体



※OECD（経済協力開発機構）とは、
経済・社会、環境問題の解決を目指し、先進38ヶ国
が加盟。

新たな都市像



新たな都市像

1



曼荼羅的なネットワーク

Mandala-like network

多様な主体が有機的につながる都市

2



利他的な都市

Altruistic City

互いを思いやる力を持つ都市

3



再生的な都市

Regenerative City

継続的に自らを再生する都市

4



世界変革の主体

City as
a transformative agent

世界の変革を自らつくりだす都市

新たな都市像

1



曼荼羅的なネットワーク

Mandala-like network

多様な主体が有機的につながる都市

2



利他的な都市

Altruistic City

互いを思いやる力を持つ都市

3



再生的な都市

Regenerative City

継続的に自らを再生する都市

4



世界変革の主体

City as
a transformative agent

世界の変革を自らつくりだす都市

市民起点の公害克服



海外との環境国際協力プロジェクト数
300件以上（過去15年間累計）
例：いわゆる「ブノンベン」の奇跡



インド・テランガナ州とのエコタウン等に関する連携協定（R7.6月）



カンボジア王国と覚書締結（R7.11）



新たな都市像を体現する3つのプロジェクト

Next Horizon Sustainable City

具現化するプロジェクト



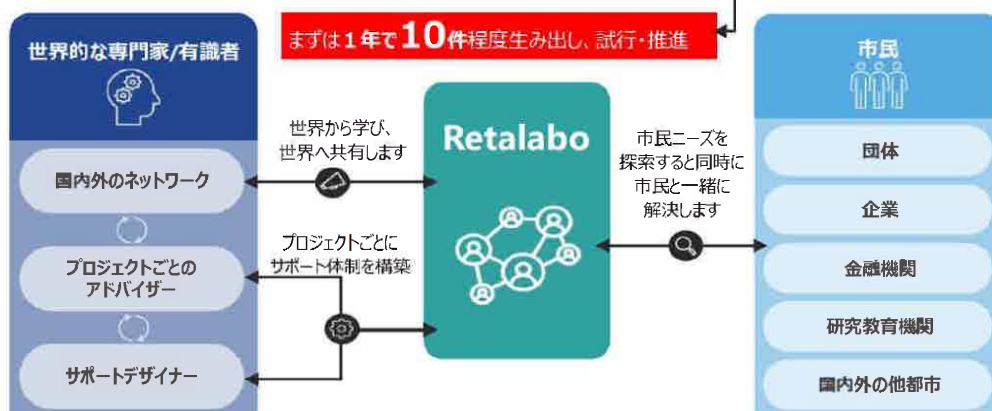
新たな都市像を体現する3つのプロジェクト

Retalabo (リタラボ)

— Altruistic, **Re**generative and **t**ransformative **a**gent **labo** —

- ✓ サステナビリティの実現のためには、分野にとらわれないイノベーションが必要
- ✓ そのため、利他的で、再生的で、かつ変革主体としての実践の「場」としてのラボを構築
- ✓ ここを起点に、市民の意欲や熱量を駆動力として、産官学民のコラボレーションにより、都市変革プロジェクトを生み出し続ける

リタラボのプレ・ワークショップを開催！
(1月24日、2月21日)



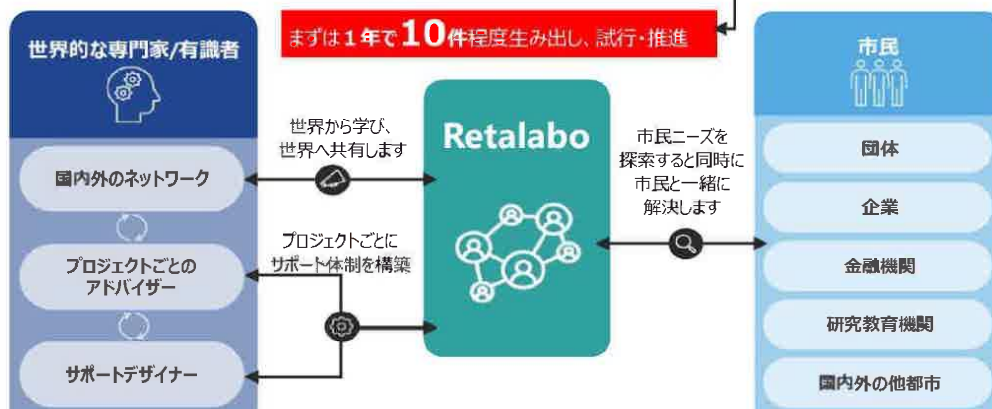
新たな都市像を体現する3つのプロジェクト

Retalabo (リタラボ)

— Altruistic, **Re**generative and **t**ransformative **a**gent **labo** —

- ✓ サステナビリティの実現のためには、分野にとらわれないイノベーションが必要
- ✓ そのため、利他的で、再生的で、かつ変革主体としての実践の「場」としてのラボを構築
- ✓ ここを起点に、市民の意欲や熱量を駆動力として、産官学民のコラボレーションにより、都市変革プロジェクトを生み出し続ける

リタラボのプレ・
ワークショップを開催！
(1月24日、2月21日)



新たな都市像を体現する3つのプロジェクト

Next Horizon Sustainable City

具現化するプロジェクト



新たな都市像を体現する3つのプロジェクト

Next Horizon Sustainable City

具現化するプロジェクト



世界的権威とのパートナーシップをスタート！



シューメイ・バイ 教授 (Prof. Xuemei Bai)

オーストラリア国立大学フェナー校環境・人間環境学卓越教授
 東京大学客員教授
 地球環境戦略研究機関（IGES）評議員

- ・ボルボ環境賞 受賞（ボルボ環境賞財団）（2018年）
- ・グローバル経済賞 受賞（キール世界経済研究所）（2021年）
- ・「気候変動政策分野で世界で最も影響力のある100人」選出（英国の民間団体Apolitical）（2019年、2022年）

現在は、IPCC特別報告書『気候変動と都市』の調整主執筆者

今後の世界のサステナビリティ実現のためには、サステナブルシティの概念を、
都市が世界変革の主体であるという新たな概念（cities as transformative agents）
 へと **アップデート**すべきという最先端の理論を提言

世界的権威とのパートナーシップをスタート！



シューメイ・バイ 教授 (Prof. Xuemei Bai)

オーストラリア国立大学フェナー校環境・人間環境学卓越教授
東京大学客員教授
地球環境戦略研究機関 (IGES) 評議員

- ・ボルボ環境賞 受賞 (ボルボ環境賞財団) (2018年)
- ・グローバル経済賞 受賞 (キール世界経済研究所) (2021年)
- ・「気候変動政策分野で世界で最も影響力のある100人」選出 (英国の民間団体Apolitical) (2019年、2022年)

現在は、IPCC特別報告書『気候変動と都市』の調整主執筆者

今後の世界のサステナビリティ実現のためには、サステナブルシティの概念を、
都市が世界変革の主体であるという新たな概念 (cities as transformative agents)
へと **アップデート**すべきという最先端の理論を提言





City of Kitakyushu

北九州市

▼動画はこちら▼



Kitakyushu Sustainability Newsletter !

Vol. 2

北九州市は日本一のサステナブルシティで、利他と再生のまちです。
このニュースレターでは、北九州市のサステナビリティに関するニュースをお届けします！

「アーバンネイチャー」に恵まれたまち北九州 ～北九州市生物多様性戦略2025-2030～

北九州市は、工業都市として発展してきた一方で、都市部に近接した多様で豊かな自然環境、いわば「アーバンネイチャー」に恵まれたまちでもあります。この独自の自然を守り、人と自然の共生を推進するため、2005年から生物多様性に関する取り組みを進めてきました。

愛知目標（COP10）や昆明・モントリオール生物多様性枠組（COP15）といった国際的な動きを踏まえ、北九州市は戦略を改定し、現在は「北九州市生物多様性戦略2025-2030」のもと、都市と自然が共に生きる社会の実現を目指しています。

この戦略は、以下の3つの目標を掲げています：

- ★生物多様性を大切にする価値観の形成
- ★生物多様性の適切な保全と回復
- ★自然を活用した多様な課題の解決

これらの取り組みを通じて、北九州市は、つながり・情熱・技術を原動力に、「ネイチャーポジティブ」を体現する世界のモデル都市を目指します。

【詳細はこちら→】https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/924_02006.html
<https://nature-kitakyushu.com/>





編集者 Mako

編集者の一言

#「アーバンネイチャー」って何？
北九州市に来たらわかります！

お寿司、絶景の海、荘厳なカルスト台地…
すべてに圧倒されます！まさにリゾート。
それでもかなり都会です。
都会と自然が共生する
北九州市の二面性。
すばらしいです！
ぜひお越しください！



これは2025年頃に日本国内向けに配布し、が内部を公開する試みとして発行したものです。事前ながら掲載がある場合はご了承ください。